

がん哲学学校 in 神戸

第27回メディカル・カフェ開催のご案内

お茶をのみながらゆっくりお話をしませんか？

「メディカル・カフェ」って？

メディカル・カフェとは、患者さん、ご家族、医療従事者等、様々な方が集まって、お茶を飲みながらゆったりと会話する場所です。「医療の隙間を埋める」ために、定期的を開催する予定です。たくさんお話をして、笑顔になってみませんか？

開催日 : 2019年 11月 16日 (土)

13時~15時30分 (受付 12時30分)

場 所 : 神戸薬科大学地域連携サテライトセンター

プログラム

12:30 受付開始

13:00 開会の挨拶

13:10

講演：神戸薬科大学名誉教授

北河 修治 先生

「パーキンソン病と付き合いながらの人生で見えて来たこと、
そしてこれから」

14:20 メディカル・カフェ

15:30 閉会の挨拶





【北河 修治 先生】

神戸薬科大学名誉教授。1951年3月24日生まれ。京都大学大学院薬学研究科修士課程修了、薬学博士。徳島大学薬学部、新潟薬科大学を経て、2006年より神戸薬科大学教授、同じ頃、左足の運動障害に気づき、2008年パーキンソン病と診断される。運動障害に苦しむが、テープ剤の登場や服薬の工夫により克服。2013年～2019年神戸薬科大学学長。本年3月の退職に合わせ、「パーキンソン病と付き合いながら薬科大学の学長として過ごした6年間」を自費出版し、6月21日付の朝日新聞「ひと」の欄で紹介される。患者や障がいのある人も一緒に活動する優しい多様性のある社会に一歩でも近づければと願いながら、活動を続けている。



先着 50名
締め切り：11月8日(金)

【がん哲学外来とは】

(<http://www.gantetsugaku.org/>)

がん哲学外来とは、順天堂大学医学部病理・腫瘍学講座の樋野興夫教授が提唱する「医療の隙間を埋める」活動です。

がんであっても尊厳を持って人生を生き切ることのできる社会の実現を目指し、より多くのがん患者が、垣根を越えた様々な方と対話することにより、「病気であっても、病人ではない」安心した人生を送れるよう寄り添う場です。

たくさんお話をして、笑顔になってみませんか？

本学でのメディカル・カフェは、学生も参加しております。ご了承ください。



住吉駅南口側連絡通路から、「KiLaLa 住吉」施設内を1Fに進んでください。

国道2号線を歩道橋で越えて、南にまっすぐ進んでください。

お申し込み先

FAX : 078-441-7837

Mail : cpec@kobepharma-u.ac.jp

11月8日(金)までにメールまたは下記に必要事項をご記入の上、お申し込み下さい。
お電話またはメールで確認の連絡をさせていただきます。

メディカル・カフェ 参加申込書

フリガナ		
お名前		
ご住所		
ご連絡先	電話番号	()
	メールアドレス	
ご勤務先		
お知りになったきっかけ		

神戸薬科大学 薬学臨床教育・研究センター

〒658-8558 神戸市東灘区本山北町4-19-1 TEL : 078-441-7836

主催：神戸薬科大学 薬学臨床教育・研究センター、 協賛：クラフト(株)、(株)スヴェンソン

後援：一般社団法人がん哲学外来、神戸新聞社